

新春挨拶



開かれた議会
を
目指して



よみがえれ！
土佐のまほろば
南国市



2000年の幕開け、おめでとうございます。21世紀まであと1年となりました。

21世紀の「副都南国市」は、交通黄金地域と中心市街化地域の周辺に拓けた田園地域といった地理的特性を生かした行政サービス・産業活動・生活環境という3つの都市機能がバランスよく発揮できるまちでなくてはなりません。

地方分権時代の到来により、さらに厳しい財政状況になり、特に自治体の施策が問われることとなります。前例踏襲ではなく、常に問題発見に努める人材育成を進めながら、若者の働く場があり、お年寄りの笑顔が見え、そして大勢の子どものたちの元気な声が至るところで聞かれる、将来に希望が持てるまち「南国市」を市民の皆様と一緒につくりあげたいと思います。

今年から介護保険がスタートしますが、老後の不安が解消されるよう制度の充実を図りたいと考えております。そして、「2002年よきこい高知国体」を成功させる取り組みも重要です。

防災性の高いまちづくりなど、市政の課題は山積していますが、ひとつひとつ解決してまいります。市民の皆様との合い言葉は「よみがえれ！ 土佐のまほろば南国市」です。

市民の皆様のご多幸を心より願いまして新年のご挨拶いたします。

南国市長 浜田 純

明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、希望に満ちた西暦2000年の新春をお迎えになられたことと、心からお慶びを申し上げます。

我がふるさと南国市は、昭和34年10月1日の市制施行以来、今年で41年目を迎えます。この間、幾多の困難を克服しながら、今「副都南国市」にふさわしい市勢の発展をみるにいたりしました。この市政を支えたのは、多くの先人や先陣たちであり、不断の努力のたまものであります。

しかし今、時代の潮流は変革のまっただ中であり、激動の波に洗われています。また、先が見えにくい不透明の時代でもあります。南国市を取り巻く状況も、まことに厳しく険しいものがありますが、今こそ陸・海・空の交通の要衝としての利点を生かした施策が求められていると思えます。また、地方分権時代に対応できる人材育成にも力を注いでまいりたいと存じます。

南国市の発展、市民福祉の向上は市議会の願いであります。「市民に開かれた議会」として、これからもその職責を十分に果たす覚悟でございますので、引き続きご支援、ご厚情をたまわりたいと存じます。南国市議会は、いつまでも市民とともにありたいと願ってやみません。

この1年が、皆様にとりまして21世紀への飛躍、発展の年となりますようご祈念申しあげまして、新年のご挨拶いたします。

南国市議会議長 西岡 照夫